

EIKICHI
ISHIDA
EXHIBITION

2

海援隊士 から 高知 知事 になった 男



写真/高山智博氏蔵

2017
7.29~11.26
SAT SUN

時間 / 9:00~17:00 (企画展開催中は無休)

料金 / 200円 (高校生以下、障害者手帳所持者は無料)

場所 / 安田まちなみ交流館・和 なごみ

住所 / 安芸郡安田町大字安田1674番地1

お問い合わせ / TEL.FAX.0887-38-3047 MAIL. info@yasuda-nagomi.com

<http://yasuda-nagomi.com/>

主催 / 安田町・安田町教育委員会

志国高知 幕末維新博関連企画展

石田英吉展

Vol.2

明治国家建設編



二十三日、吉村虎太郎、久坂玄瑞、高杉晋作 中岡慎太郎 坂本龍馬。動乱の幕末に数多の同志を失った男は、明治をどう生きたのか。

「この若者の履歴というのは、そのまま幕末風雲史なのである。」(『竜馬がゆく回天篇』 司馬遼太郎がその評した前半生を経て、迎えた新しい時代、明治。新国家が建設されていく中、石田英吉は、どのような生きざまをたどったのか。士族反乱の動きとは一線を画し、地方官として辣腕を發揮、開明的な知事とも評価された。海援隊の仲間との交友からは、受け継がれた海援隊精神も垣間見える。一方で、志半ばで斃れた多くの仲間たちを偲び、顕彰活動も行った。これまでまったく知られていなかった、志士から官僚への後半生が初めて明らかに。



維新元勳集合写真(中列右端 石田英吉 右から4人目 清岡公張 前列左端 田中光頭)

略歴

幕末〜明治初め

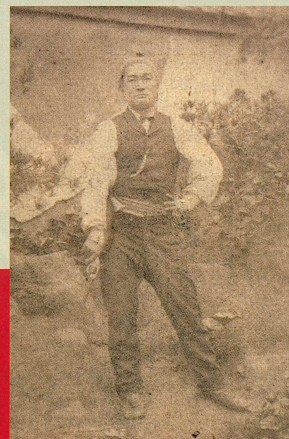
天保11年、安田町中山の医者の家に生まれる。高松順蔵のもとで学び、田野学館にも通う。その後、緒方洪庵の塾にはいる。大和義拳(天誅組)に参加し、中山忠光、土佐藩士たちとともに転戦するも敗北を喫し、長州に逃れる。禁門の変で長州軍の遊軍である忠勇隊に加わるが、再び敗れて長州に。そこで第二奇兵隊とともに幕長戦争に参加、その後坂本龍馬と合流し、下関海戦ではユニオン号砲手長として活躍する。海援隊士時代には横笛丸船長をつとめる。戊辰戦争時には、長崎を拠点とし、振遠隊御用掛として奥羽を転戦した。明治元年11月東京に凱旋、翌年には長崎に帰還して解散した。

明治



秋田県令 石田英吉 (『府県長官銘々伝』より)

明治2年	11月	長崎県少参事
明治3年	2月	長崎県大参事 異宗徒一件取扱で褒賞
明治4年	11月	三瀬県権参事
	同月	神奈川県七等出仕
明治6年	5月	香港へ出張 警察制度について調査
	9月	帰国
明治8年	5月	秋田県権令
明治16年	3月	長崎県令
明治19年	2月	元老院議員
	8月	欧米へ自費遊学 留学中、ドイツの法学者 シュタインの講義を受講
明治21年	9月	帰国
	11月	千葉県知事
明治23年	7月	農商務大臣次官
明治25年	11月	高知県の第12代知事になる。
明治29年		朝倉四十四連隊創設に尽力
	6月	男爵に叙爵
明治31年	8月	貴族院男爵議員に選出
明治34年		63歳で没するまで在任

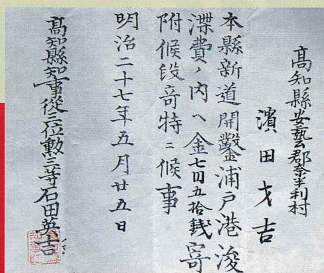
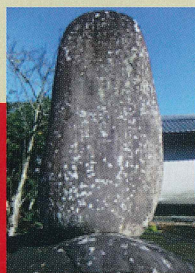
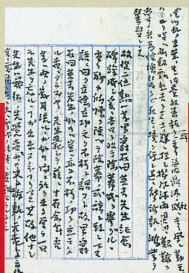


明治初年頃の石田英吉 (日本カメラ博物館蔵)

(右) 濱田才吉宛感謝状 (竹崎邦博氏蔵)

(中央) 安田町北寺にある石田英吉の顕彰碑

(左) 石田英吉顕彰碑の除幕式における高松清節(高松清亭子息・順蔵甥)による祝辞の原稿



アクセス/高知ICから車で90分 土佐くろしお鉄道安田駅から車で5分



安田まちなみ交流館・和なごみ

住所/ 安芸郡安田町大字安田1674番地1
時間/ 9:00~17:00(企画展開催中は無休)
お問い合わせ/ TEL.FAX.0887-38-3047
MAIL. info@yasuda-nagomi.com
http://yasuda-nagomi.com/



安田まちなみ交流館・和(なごみ)は、日本遺産ストーリー「森林鉄道から日本一のゆずロードへゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化」の構成文化財です。